

論文審査の要旨

報告番号	甲 第 3110 号	氏 名	阿部 真麻
論文審査担当者	主査 本田 一穂 教授 副査 坂下 暁子 教授 副査 原田 浩史 教授		
(論文審査の要旨) <p>骨髄異形成症候群(MDS)と再生不良性貧血(AA)は、汎血球減少を特徴とする骨髄不全症である。骨髄病理組織の細胞密度、塗沫標本による血球形態、芽球増加の有無が形態学的鑑別点であるが、低形成性 MDS (Hypo-MDS) は、造血細胞絶対数が少なく形態学的鑑別が困難なことが多い疾患である。両者は治療方針や予後、治療開始までの期間が重要であり迅速な診断が要求される。阿部らは、Hypo-MDS と AA の骨髄病理組織標本を用いて、免疫組織化学的に両者の鑑別について検討した。p53、HbF、CD34、c-kit の陽性数および巨核球異形成については両者で有意差を認め、Hypo-MDS に優位な発現がみられた。CD8 陽性Tリンパ球の浸潤は AA に優位な傾向がみられた。骨髄肥満細胞のサブタイプ解析と、骨髄組織内の単球/組織球の分布と増生は両者の鑑別に有意な所見は見られなかった。</p> <p>上記の結果からは、免疫組織化学的検討において単独で両者を鑑別できるものはなかったが、造血細胞に関する免疫学的所見および骨髄背景に関する所見を組み合わせることで、造血細胞絶対数が少ないHypo-MDS と AA の鑑別に際して、骨髄病理診断の精度向上に役立つと考えられた。</p> <p>以上より、Hypo-MDS と AA の病理組織学的鑑別において、新たな知見が得られており、学術論文に値すると判断した。</p> <p>論文題名：低形成骨髄異形成症候群と再生不良性貧血の鑑別に関する免疫組織化学的検討</p> <p>掲載雑誌名：昭和学士会雑誌 第80巻 第1号 2020年 掲載予定</p>			

(主査が記載、500字以内)